

令和4年度柏市役所ゼロカーボンアクションプランまとめ

1 柏市役所ゼロカーボンアクションプランについて

(1) 目的

「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、市内の一事業者として市域の温室効果ガスの排出抑制に積極的に寄与するため市自らの事務・事業における温室効果ガスの削減に向けた取組を推進すること。

(2) 対象

柏市及び東葛中部地区総合開発事務組合の全ての組織と施設

(3) 目標

温室効果ガス排出量を **2013年度（平成25年度）比**で2030年度（令和12年度）までに**51%以上削減**

※2020年（令和2年）10月の「2050年カーボンニュートラル」宣言を受け、2021年（令和3年）10月に国の地球温暖化対策計画及び政府実行計画が閣議決定され、2030年度の排出削減目標が大きく引き上げられたことに伴い、国の目標を踏まえて目標値を修正し、計画の実効性を高めることを目的に、2023年（令和5年）4月を始期とする、「柏市役所ゼロカーボンアクションプラン」の策定（旧柏市エコアクションプランの改定）をした。

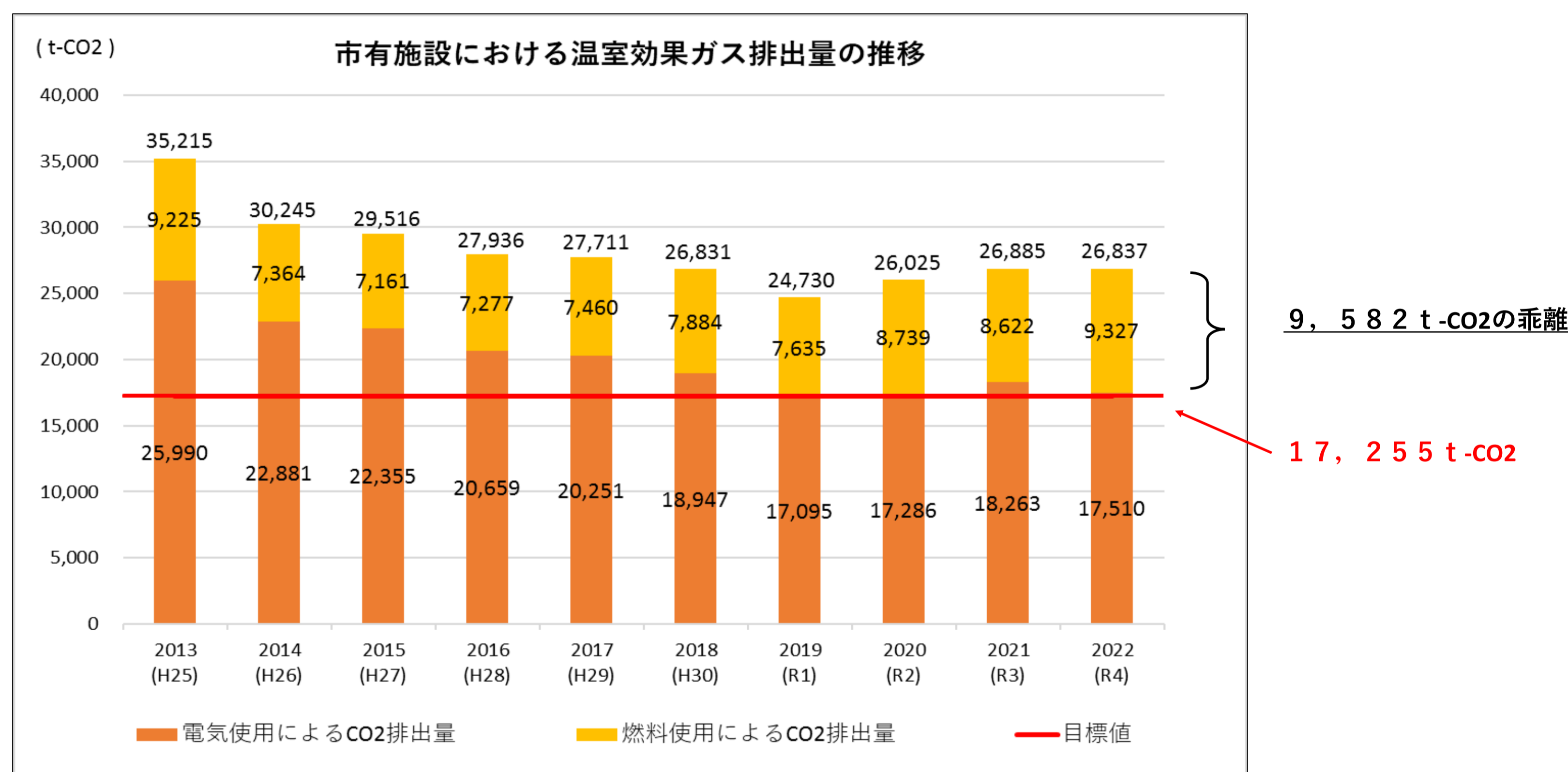
2 市有施設における温室効果ガス排出量の推移及び目標達成状況

(1) 温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	基準年度									実績
		2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
電気使用によるCO2排出量	t-CO2	25,990	22,881	22,355	20,659	20,251	18,947	17,095	17,286	18,263	17,510
燃料使用によるCO2排出量	t-CO2	9,225	7,364	7,161	7,277	7,460	7,884	7,635	8,740	8,622	9,327
温室効果ガス総量	t-CO2	35,215	30,245	29,516	27,936	27,711	26,831	24,730	26,025	26,885	26,837

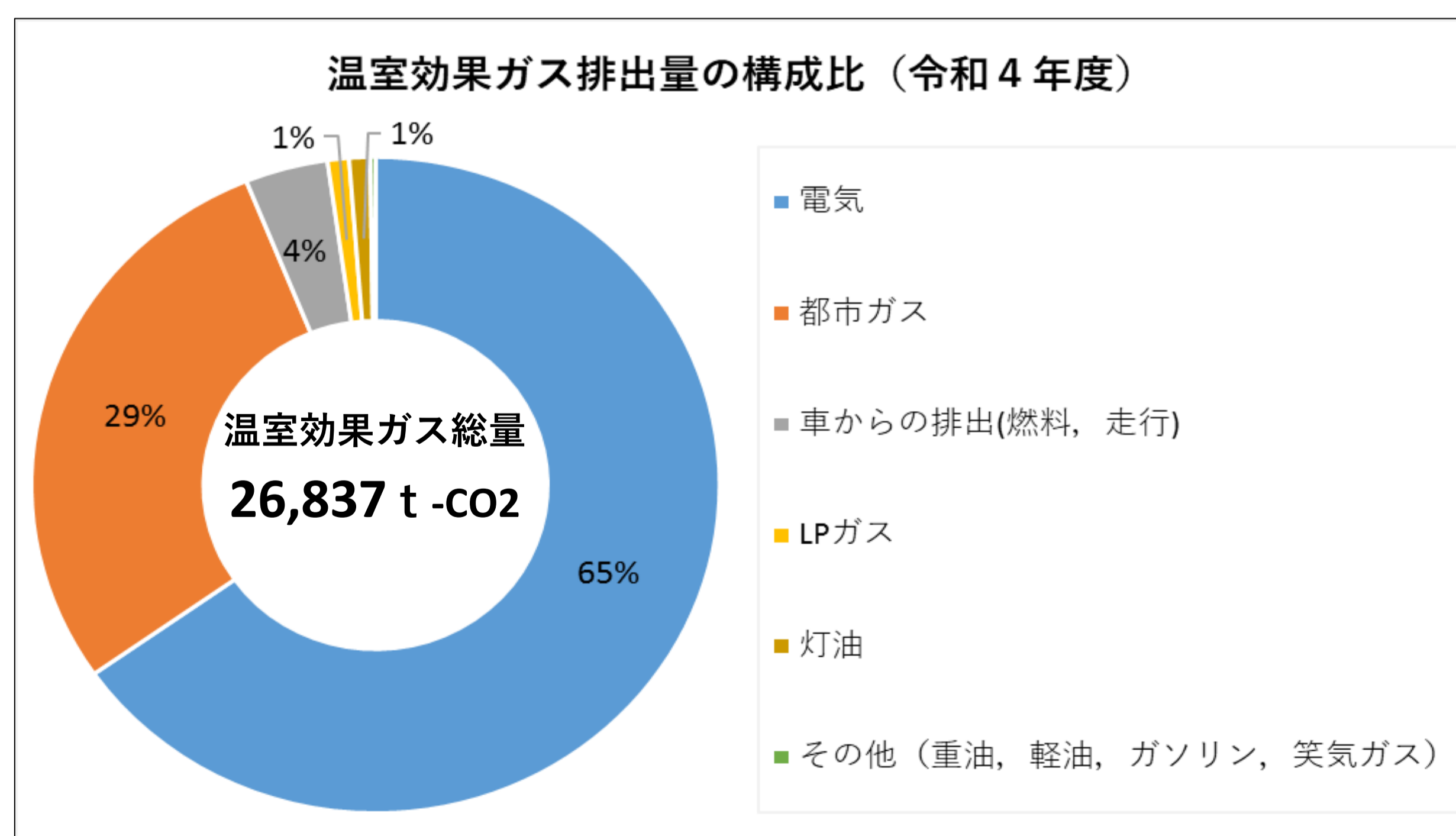
(2) 計画の達成状況

- 令和4年度の市有施設における温室効果ガス排出量は、合計で**26,837 t-CO2**となり、基準年度と比較して**23.8%**削減した。
- 電気使用による温室効果ガス排出量は年々減少傾向にあり、基準年度と比較して**32.6%**削減した。
省エネ設備の導入による使用量の削減が進んだことや、環境に配慮した電力を調達する施設が増えたことによるものと考えられる。
- 柏市役所ゼロカーボンアクションプランでは、**2013年度（平成25年度）比**で2030年度（令和12年度）までに**51%以上**の削減目標が掲げられているため、更なる取組が必要となる。



3 市有施設における温室効果ガス排出量の構成比

市有施設から排出される温室効果ガスの約7割が電気の使用によるものである。電気使用による排出量を削減するため、環境配慮電力や太陽光発電設備による再生可能エネルギーの導入、LED照明の設置や空調の更新等による省エネの徹底を図る必要がある。



項目	R4 (t-CO2)	構成比 (%)
電気	17,510	65.2
都市ガス	7,682	28.6
車からの排出(燃料, 走行) ※1	1,044	3.9
LPガス	270	1.0
灯油	265	1.0
その他 ※2 (重油, 軽油, ガソリン, 笑気ガス)	66	0.2
温室効果ガス総量	26,837	

※1 内訳(t-CO2)

車両燃料(t-CO2)	走行(CH4,N2O⇒t-CO2)	合計
1027.1	17.3	1044.4

※2 内訳(t-CO2)

重油	軽油	ガソリン	笑気ガス	合計
53.6	0.9	1.9	9.5	65.9